

東灘交通市民会議

「住吉台くるくるバス」開通特別号！

2005年(平成17年)1月23日

発行 東灘交通市民会議

座長 森栗 茂一

平成17年1月23日 地域住民と関係各機関の協働により、
「住吉台くるくるバス」は走り出します



東灘交通市民会議では、高齢者が安心して暮らし、子どもたちが住み続けることができる町、また地球温暖化対策のためにも、自家用車だけに頼らないまちづくりをめざしてきました。

平成16年2～3月の約40日間、内閣官房・都市再生本部から認定された全国都市再生モデル調査として、NPO法人コミュニティ・センター神戸(CS神戸)がバス実験運行(JR住吉駅前と住吉台及び渦森台・鴨子ヶ原を結ぶ2ルート)を実施した結果、特に住吉台では単なる移動手段のみならず、高齢者の外出の増加や地域コミュニティ向上への寄与などその必要性が極めて高いことが実証されました。

これを受け、住民、行政、バス事業者やまちづくりの専門家などが一体となり、従来にはない新しいタイプのバスの本格運行に向け準備を進めてまいりましたが、平成17年1月23日、運行開始の運びとなりました。

昭和40年代の入居開始以来、住吉台住民の悲願を実現できたのも、関係機関の絶大なるご協力・ご支援の賜物に相違ありません。厚く感謝いたします。



住吉台くるくるバス開通式

・ 日時：平成17年1月23日(日)

午前10時～

・ 場所：住吉台東住宅集会所

住吉台のすがた

立地条件

住吉台は、神戸市東灘区の北西に位置し、昭和40年代に兵庫県住宅供給公社や民間事業者により開発された住宅地です。

地形的には、六甲山南側山林の造成によりできたまちであるため、大阪湾や阪神間の市街地の眺望は素晴らしい反面、北、東、南の三方が山林や谷筋に囲まれており、急な坂道も多いなどの特徴があります。

また、JR 住吉駅までは車で約5～10分という交通至便な立地条件にありながら、六甲山に隣接する自然が豊かな地域です。野生のイノシシもたくさん出没します。

住宅・施設の状況、人口動態

地域の大部分が住宅地で、住宅の形態は公的分譲マンションや民間分譲マンション、公営集合住宅、戸建て住宅や社宅など、多様な構成となっています。

生活利便施設としてはミニスーパーや飲食店、医院などがわずかにある程度で、店舗や学校、医療機関、社会福祉施設など、生活に必要な施設は JR 住吉駅などの鉄道駅周辺などに依存しています。

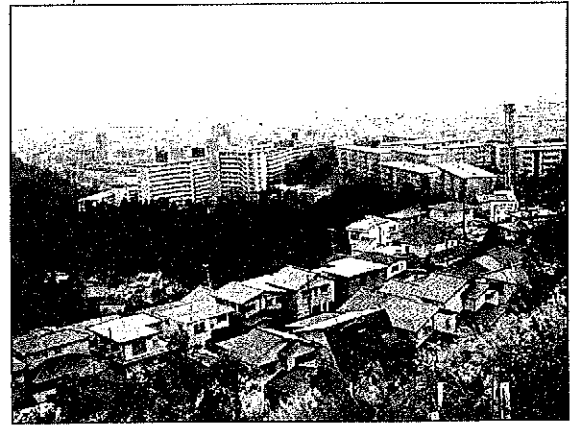
また、昭和60年には約 5,500 人であった地域内の人口が、平成16年末には約 4,000 人に減少し、65歳以上の住民が22%を超えるなど住民の高齢化が進行しています。

○主な施設

保育所	同朋保育園
店舗	ミニコープなど
医院	1軒

○人口の動向

		昭和 55年	昭和 60年	平成 2年	平成 7年	平成 12年	平成 16 年 12 月末
人口		5,110	5,475	5,182	4,805	4,113	3,956
世帯数		1,493	1,676	1,666	1,653	1,653	1,776
年齢 構成	0～14才	32%	27%	19%	15%	11%	10%
	15～64才	65%	69%	75%	75%	71%	67%
	65才以上	3%	4%	6%	10%	18%	23%



急坂の上の住吉台に登る 300 段階



JR 住吉駅前バス停付近

バス停からは歩道橋を登らな JR 住吉に行けない

自家用車送迎がバス停に入り込む

○ 学区

小学校 渦が森小学校区
中学校 住吉中学校区

東灘交通市民会議 取組み経過

神戸市東灘区山麓の高齢化した古い住宅団地では、住民の日々の生活の足となるバスの乗り入れについて

- ◆ バス乗り入れのない狭小坂道の多い地区 30 年の念願
- ◆ 病院への通院、区役所等へのバスの便について 10 年来、請願

があった。神戸市TDM研究会に参画していたNPO法人コミュニティ・センター神戸(CS神戸)が、平成15年度全国都市再生モデル調査として、バスのなかった町にバスを走らせようという「くるくるおでかけネットワーク」調査事業を国の内閣官房・都市再生本部から認定を受け、有料での社会実験を実施しました。

結果は予想以上の大勢の住民が、お金を支払って試験運行バスに乗り、全国初の有料制の実証実験に、「絶対バスが要る」との明確な答えを、「乗車行動」で示しました。

○ 実験走行の乗客人員数

住吉台ルート	平均 239 人/日(最大 367 人/日)
渦森台ルート	平均 109 人/日(最大 185 人/日)

これを実験に終わらせるのではなく、住民の熱い思いを本格運行に結びつけるために、実証実験に関わった住民・NPO・シンクタンクが集まり、

- ① 山麓部の生活路線を市民合意で本格運行をめざすため
- ② 東灘区のほかの生活バス不便な地域の要望も、市民議論にのせ解決法を模索するため、すなわち、「市民合意による市民の生活交通を再構築するため」に東灘交通市民会議が、平成16年6月発足しました。

実験走行のチラシ

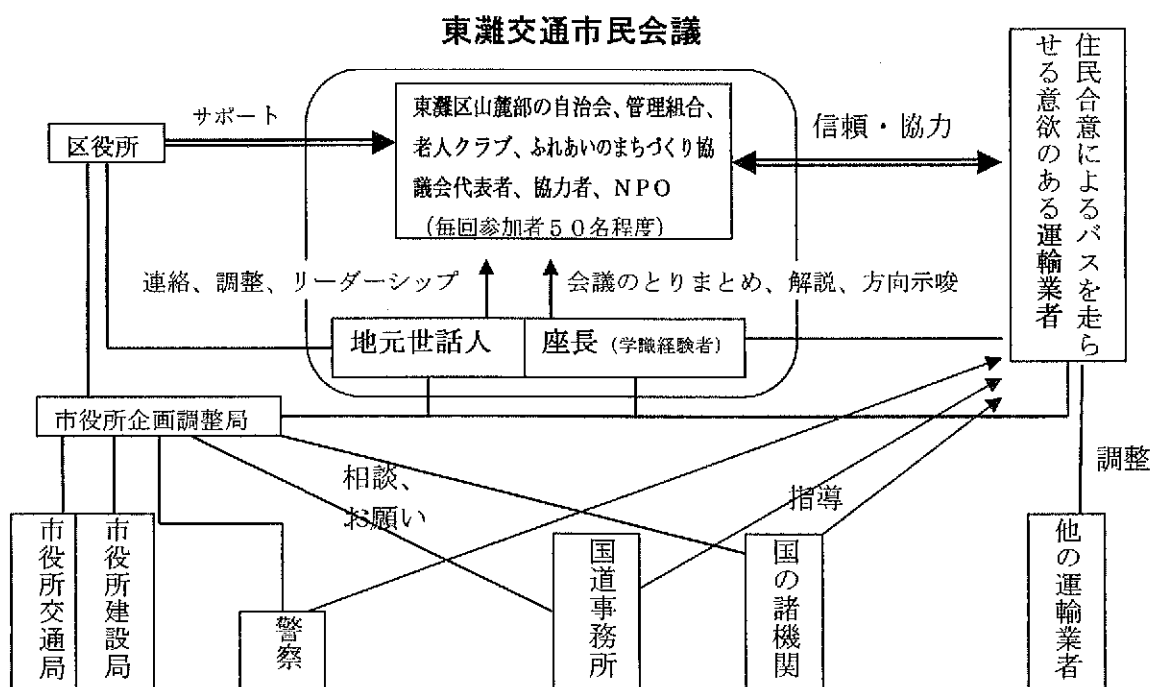
地域バスをつくろう!!
「くるくるバス」

このバス、NPO法人コミュニティ・センター神戸(CS神戸)が、内閣官房・都市再生本部の「全国都市再生モデル調査」として「くるくるおでかけネットワーク」調査事業を認定された。このチラシでは、神戸市東灘区山麓部の高齢化した古い住宅団地、実際にバスを走らせる社会実験を通じて住民の思いを問う調査事業を紹介しています。1回1往復の乗車料を、1日90日間の乗車でこの調査事業にさせていただきます。乗車料は別途募集するため、「乗車1日券」を別に発行させていただきます。

● 乗車料：200円（消費税別）
● 運行日時：2月21日（土）～2月29日（木） 8:00～18:00
● 運行区間：住吉台～渦森台

※乗車料は別途募集させていただきます。
※乗車料は別途募集させていただきます。
※乗車料は別途募集させていただきます。

○ 問い合わせ先：CS神戸（神戸市東灘区住吉台5丁目1番1号）
電話：078-461-0000



東灘交通市民会議

《座長》 森栗 茂一(大阪外国語大学教授)

《参加メンバー》

○地域住民組織

- ・ エクセル住吉台管理組合
- ・ 住吉台中自治会
- ・ 泉堂住吉台団地自治会
- ・ 住吉台東自治会
- ・ 荒神山住宅管理組合
- ・ 住吉台東住宅管理組合
- ・ 住吉台 A1 棟自治会
- ・ 住吉台南自治会
- ・ 住吉台住宅管理組合
- ・ 万翠園管理組合 (50音順)

- ・ 老人クラブ「住吉台楽寿会」
- ・ 渦が森ふれあいのまちづくり協議会

○NPO法人

- ・ コミュニティ・サポートセンター神戸(CS神戸)
- ・ 神戸まちづくり研究所

○バス事業者

- ・ みなと観光バス㈱

○行政

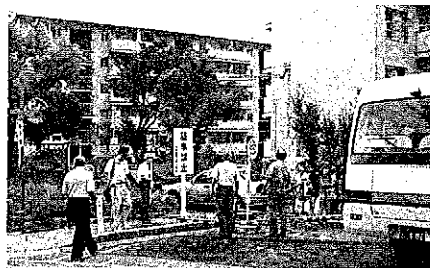
- ・ 神戸市(東灘区役所など)

取組み経過

平成 15 年 2 月	神戸市TDM研究会の発足 流通科学大学森津教授・京都大学中川助教授・近畿運輸局・神戸市企画調整局・環境局・交通局・CS神戸・ネットワーク「地球村」inKOBÉ・ECO レンジャー・南京町商店街振興組合・大丸神戸店・神戸長田 TMO・北神急行等多数参画
9 月 22 日	「全国都市再生モデル調査」として「くるくるおでかけネットワークプロジェクト調査」(CS神戸)が採択される
平成16年 2 月 21 日 ～3 月 31 日	バス走行実証実験 (2月21～28日:無料、3月1日～31日:有料) CS 神戸から「みなと観光バス㈱」に実験運行委託
5 月 28 日	「全国都市再生モデル調査」報告会 ・CS神戸が、地域住民に対して報告 ・「東灘コミュニティバスの今後」(森栗報告)で市民合意とバス停確保の重要性を共有化⇒交通市民会議の必要性を共通理解⇒準備会
6 月 30 日	第1回東灘交通市民会議 ・ 警察・国道事務所・市建設局・市交通局との調整プロセスの公開 ・ JR住吉駅前バス停の検討状況報告



7月	「東灘交通市民会議」の運営に兵庫県のパワーアップ助成獲得
7月末から8月	JR住吉駅前などバス停の共用に関して、既使用者である既存のバス事業者2社から基本的に理解・協力が得られた事をもとに、相互間のバス運行時刻が重ならないようなダイヤ設定を行うなど、具体的な調整を進めた。
8月9日	第2回東灘交通市民会議 ・バス停設置に関する道路管理者、警察署、市交通局との調整状況の報告と今後の取り組みについて議論(住吉台:ルート・バス停等、渦森台・鴨子ヶ原:新たなバス導入の必要性について)
8月19日	住民と事業者による運行ルート・バス停位置の現地調査 ・住吉台に実際にバスを持ち込み調査 ・地元住民がバス停位置の検討を行い、地元住民自らが、バス停予定地近傍の住民と設置の交渉を行う
8月末 ～9月12日 (最大の危機!!)	エクセル住吉台前バス停調整で、1軒の民家から異論が発生。マンション管理組合は、議論の末、当初予定のマンション前のバス停を断念(9/12 理事会決議)し、バス停を「エクセル東」(鉄塔前)に変更
9月13日	東灘交通市民会議 住吉台部会 ・バス停、ルート、ダイヤ最終確認 ・住吉台住民が自ら集約した地元住民の方針・意向をもとにバス運行事業者が、ダイヤ編成など具体的な作業に入る。
8月上旬～ 11月下旬	残る1社(JR住吉駅前バス停共用3社のうち)に対するJR住吉駅前バス停共用の同意取得に時間を要した。 8月上旬からバス事業者間で話し合いをしたが同意が得られず、10月中旬には住民代表と座長が交通市民会議の「市民合意」内容を踏まえて詳しく説明し、理解いただけるよう懇願した。
11月26日	第3回東灘交通市民会議 ・これまでの関係者との調整状況とバス運行概要の報告 ・今後の課題整理
12月末	JR住吉駅前バス停共用について、残る1社の同意を得る。
平成17年 1月11日	第4回東灘交通市民会議 ・運行開始日のお知らせ、開通式の計画策定 ・バスの愛称「住吉台くるくるバス」に決定
1月8～20日	JR住吉駅バス停拡幅工事
1月23日	「住吉台くるくるバス」運行開始



今後の展開

地域住民の盛り上がりとバス運行に対する粘り強い「市民合意」形成を目の当たりにして、地域貢献を経営の基礎に置く「やる気のある地元バス事業者」が動きだされ、区役所・市役所各局、関係官庁・警察署等が理解を深め、応援団となり、「住吉台くるくるバス」の実現となりました。

やっと作り上げてきたこの路線を、今後は守り育てる事こそが市民の役割です。1時間に4本走る便利な路線です。口コミ、自治会広報等で宣伝し、皆様に乗っていただくことで、このバスが「地域の足」として未永く定着し、それによって「老後も安心。孫子の代まで、住み続けられる町」にしたいものです。

バス運行に対する住吉台住民の熱い思い入れをベースにして、「住吉台くるくるバス」が本格運行に至ったプロセスを全て公開する。

他の交通不便地域でも、地域として同じような手法を検討し、持続可能な町を育てたい意向があれば、市民交通会議に参画して一緒に議論する。必要に応じて、経験者としての市民・専門家・意欲のある運輸業者を派遣、行政がサポートする。

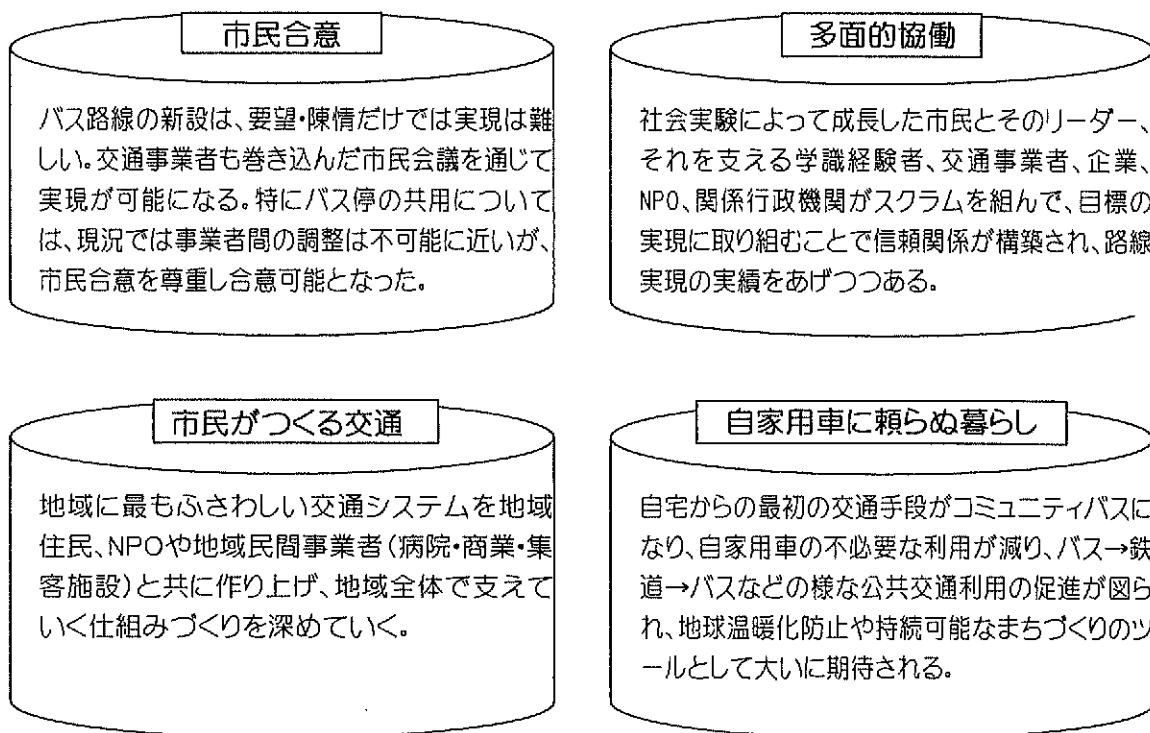
他の地区の期待があることから、住吉台ではさらにバスの充実（早朝、深夜、タクシーとの連動、カード化）をめざして努力し、公共交通が便利な持続可能な住宅地のモデルとなる

東灘区の各地が、自家用車依存から脱却し、コミュニティ交通をいかした町に脱皮することによって、高齢者も安心して住み続けられる、子どもたちも住み続けられる持続可能なまちづくりを、出来るところから実現していく。
結果的に地球温暖化防止の一翼を担う、地球環境にやさしい東灘区をめざす。

高齢化が進む中、いつまでも自家用車に頼っては生活できません。大きな事故を起こしてからでは遅い。地球環境温暖化防止も緊急課題です。

やる気のある交通事業者、地域住民、NPOや地域民間事業者（病院・商業・集客施設）とともに、市民のための交通を作り上げ、「マイカー」ならぬ「マイバス」として、自動車に頼らずとも住み続けることのできるサステナブル（持続可能）なグレードの高い町にしたいものです。

東灘交通市民会議の特色



住吉台くるくるバス時刻表 (平日、土曜、日祝)

上り (住吉台行)	7~11	12	13	14~20	21
住吉駅前	1 16 31 46	1 31	1 31	1 16 31 46	1 16
東灘区役所前	2 17 32 47	2 32	2 32	2 17 32 47	2 17
ミニコープ前(上り)	8 23 38 53	8 38	8 38	8 23 38 53	8 23
県住前(上り)	10 25 40 55	10 40	10 40	10 25 40 55	10 25
同朋保育園前	11 26 41 56	11 41	11 41	11 26 41 56	11 26
住吉台北(上り)	12 27 42 57	12 42	12 42	12 27 42 57	12 27
エクセル東(着)	13 28 43 58	13 43	13 43	13 28 43 58	13 28

下り (JR住吉駅行)	6	7~11	12	13	14	15~20	21
エクセル東	46	1 16 31 46	1 16 46	16 46	16 31 46	1 16 31 46	1 16 31
住吉台北公園	47	2 17 32 47	2 17 47	17 47	17 32 47	2 17 32 47	2 17 32
同朋保育園前	48	3 18 33 48	3 18 48	18 48	18 33 48	3 18 33 48	3 18 33
県住前	49	4 19 34 49	4 19 49	19 49	19 34 49	4 19 34 49	4 19 34
万翠園前	50	5 20 35 50	5 20 50	20 50	20 35 50	5 20 35 50	5 20 35
赤塚橋	51	6 21 36 51	6 21 51	21 51	21 36 51	6 21 36 51	6 21 36
室内(東京三舞行前)	55	10 25 40 55	10 25 55	25 55	25 40 55	10 25 40 55	10 25 40
住吉駅前(着)	59	14 29 44 59	14 29 59	29 59	29 44 59	14 29 44 59	14 29 44

運賃表

均一運賃 大人:200円、小人:100円

定期券

券種	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月
普通 (通勤) 大人	8,400円	23,940円	45,360円
普通 (通勤) 小人	3,000円	8,550円	16,200円
通学(大人)	7,200円	20,520円	38,880円
通学(小人)	3,000円	8,550円	16,200円
通勤通学(勤労学生)	7,800円	22,230円	42,120円

おねがい

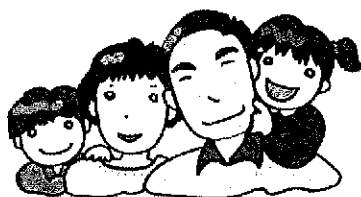
定期は持参人方式ですから
誰でも使えます。

一家に一枚 定期券!

みんなで乗って、夜間の便も
増えるかも?

回数券

券種	枚数	運賃額
200円券	11枚	2,000円
	23枚	4,000円



大人運賃:中学生以上の方 小人運賃:小学生以上の方

なお、大人1人に対して、幼児は1名までは無料です。2人目からは小児運賃を申し受けます。

※ 定期券、回数券の販売方法は別途パンフレットや車内広告でお知らせいたします。



〒658-0031 神戸市東灘区向洋町東1-4 TEL 078-845-3710

住吉台ぐるぐるバス路線図

1:11,000

0 100 500 1000

